

## ■ 活水女子大学校舎の耐震補強改修事業（長崎市東山手 1-50）

2号館  
 用途 校舎（講義室、図書室、事務室）  
 竣工 昭和 56 年 2 月 28 日  
 延床面積 3,381 m<sup>2</sup>  
 構造 鉄筋コンクリート造 5階建  
 耐震工事 耐震診断の結果、一部の箇所では基準値を下回っていたので平成 27 年度に改修工事を実施した。  
 工事箇所は、1 階、2 階、3 階



体育館  
 用途 体育授業、部活動  
 竣工 昭和 51 年 9 月 24 日  
 延床面積 2,869 m<sup>2</sup>  
 構造 鉄筋コンクリート造 3階建  
 耐震工事 耐震診断の結果、一部の箇所では基準値を下回っていたので平成 27 年度に改修工事を実施した。  
 工事箇所は、1 階、2 階、R 階



5号館  
 用途 校舎（講義室、事務室）  
 竣工 昭和 55 年 12 月 20 日  
 延床面積 2,295 m<sup>2</sup>  
 構造 鉄筋コンクリート造 5階建  
 耐震工事 耐震診断の結果、一部の箇所では基準値を下回っていたので平成 27 年度に改修工事を実施した。  
 工事箇所は、1 階、2 階、3 階



本館  
 用途 校舎（講義室、図書室、事務室）  
 竣工 第一期 大正 15 年 10 月  
 第二期 昭和 8 年 1 月  
 第三期 昭和 52 年 10 月  
 延床面積 7,444 m<sup>2</sup>  
 構造 鉄筋コンクリート造 5階建  
 耐震工事 耐震診断の結果、一部の箇所では基準値を下回っていたので平成 28 年度から 30 年度まで改修を実施した。令和元年度に大小チャペルの吊天井および梁補強を実施した。本建物は歴史的建造物の指定を受けており、全て内部からの補強となっている。工事箇所は、1 階、2 階、3 階、4 階



※活水女子大学校舎耐震化率：100%（令和 7 年 4 月 1 日現在）

（校舎耐震化率については東山手キャンパス、大村キャンパスの使用校舎で算出。  
 未使用の東山手キャンパス 3 号館は令和 8 年度以降に耐震工事又は解体を予定。）